第43回全国都市緑化フェアin京都丹波　“京都丹波みどりの里まつり”
自治体出展　出展要項

Ⅰ　全国都市緑化フェアin京都丹波の概要

1　基本事項

名称	第43回全国都市緑化フェアin 京都丹波
愛称	京都丹波みどりの里まつり
テーマ	食農と環境そしてアートで輝く「京都丹波」
開催期間	令和8(2026)年9月18日(金)～11月8日(日)　52日間　：コア期間
主催者等	提唱：国土交通省 主催：京都府、亀岡市、南丹市、京丹波町、公益財団法人都市緑化機構
会場	■拠点会場 京都・亀岡保津川公園および周辺／亀岡運動公園および周辺 園部公園および周辺／わち山野草の森および周辺／京都府立丹波自然運動公園および周辺 ■フェアスポット 京都丹波地域全体をフェア会場として捉え、地域の多様な魅力を表現するため、「自然・風景・景観」「食・くらし」「文化・芸術」「歴史・伝統」「活動・スポーツ・レクリエーション」「休養」などにスポットを当てた場所などを「フェアスポット」として設定
入場方式	各施設への入場について、京都丹波フェアでの料金徴収はなし ※既存の有料施設については、各運営主体が定める現行の料金体系 ※特定のイベントやプログラムについては、別途料金の徴収を検討

京都丹波
みどりの
里まつり

▲シンボルマーク

▲イメージキャラクター
亀岡市、南丹市、京丹波町のマスコットキャラクター「明智かめまる」、「さくらちゃん」、「京丹波味夢くん」を京都丹波フェア用にアレンジして活用します。

2　拠点会場

亀岡運動公園および周辺（京都丹波の造園・園芸を知る拠点）の事業展開イメージ

隣接するコスモス園と連携したスケール感のある華やかな修景の中で、多様な主体による屋外展示やコンテンツを楽しむと共に学びを深め、地域の魅力を発見・再認識して地域づくりへとつなげる拠点

デザイナーによるメインガーデン

愛好家のハンギングバスケットとコンテナガーデン

フェアのテーマに沿った庭園作品

自治体によるPR出展

協働でつくる修景花壇

全国造園デザインコンクール受賞作品

陸上競技場の壁を活用した空間装飾

京都・亀岡保津川公園および周辺（京都丹波の農に触れる拠点）の事業展開イメージ

京都丹波地域の豊かな自然と、その上に成り立つ営みである農の体感・体験を通じて、地域や農、環境への理解を促し行動変容につながる拠点

京都丹波の自然素材を使ったアート

作品性のある農小屋を活用したアート

協働でつくる「農家の庭」

オーガニック農園体験エリア・市民農園エリア

園部公園および周辺（京都丹波の歴史・文化を知る拠点）の事業展開イメージ

歴史を感じさせる落ち着いた修景の中で、多様な主体による屋内展示やコンテンツを楽しむと共に学びを深め、京都丹波地域への愛着を深める拠点

伝統芸能、祭事などの文化体感

多様な主体との協働による作品

京都丹波フェアらしいシンポジウムや講演など

史跡や食を巡るサイクルツアー、グルメツアー

京都丹波地域の眺望を楽しむ場

健幸緑花のまちをPRする事業

京都府立丹波自然運動公園および周辺（京都丹波のグルメ・イベントを楽しむ拠点）の事業展開イメージ

地域の食や、花や緑の普及啓発をはじめとした地域の魅力を伝える多様なイベントを通じて、人が集まり、交流し、地域の魅力を満喫する拠点

地域のグルメを楽しめるイベント

地元産材を使った小・中学生のプランター作品

田んぼアート

地域住民による菊花展

わち山野草の森および周辺（京都丹波の植物に触れる拠点）の事業展開イメージ

京都丹波地域の豊かな緑・多彩な植物との触れ合いを通じて植物の豊かさ、大切さを学ぶと共に京都丹波の魅力に触れる拠点

みどりのトンネル

山野草展の開催

アート作品イベント

山野草理解を深めるイベント

地域のグルメを楽しめるミニイベント

地元産材を使った小・中学生のプランター作品

Ⅱ　全国都市緑化フェアin京都丹波　自治体出展について

1　出展概要

（1）タイトル、テーマ、規模、出展期間、出展対象

- 全国都市緑化フェアin京都丹波（京都丹波フェア）における自治体出展は、以下のとおりを予定しています。

	負担金方式	自主施工方式
タイトル（仮）	**まちなかアウトドアリビング**	**わがまちＳＴＹＬＥ**
テーマ（仮）	まちの中でくつろぎ、憩い、植物の力を知る	地域の過去・いまを踏まえて 未来のライフスタイルを提案する
出展場所	亀岡駅北口	亀岡運動公園
規模	１５㎡程度（５ｍ×３ｍ）	２０㎡程度（５ｍ×４ｍ）
出展期間	令和８（２０２６）年９月１８日（金）～１１月８日（日）５２日間：コア期間	

（2）出展方法の種類

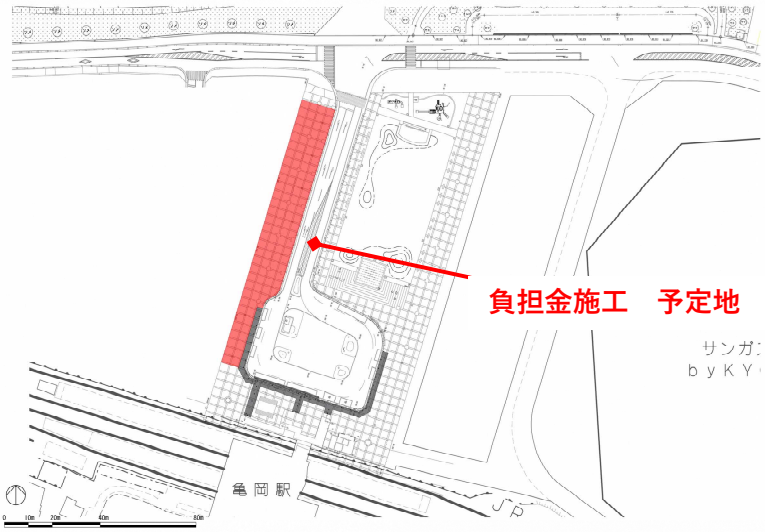
- 出展方法は次のいずれかを選択することができます。

区分	出展方法
負担金方式	• 参加される自治体からの負担金により実行委員会事務局（事務局）が花壇を制作します。 • 事務局が設定する出展テーマに基づき、参加される自治体にて花壇のデザインおよび花壇に使用する材料の選択を行っていただきます。 • 花壇に使用する材料は、原則として事務局が作成する材料リスト（植物や資材）の中から選択していただきます。 • 事務局が作成するリストの材料のほか、自治体による持ち込み資材（自然素材、工作物等）も使用することは可能です。持ち込みに係る費用については、各自治体負担とします。 • 自治体作成のデザインに基づき、事務局が材料調達、花壇施工、維持管理、撤去を行います。 • 花壇材料、施工、維持管理、撤去の費用として、負担金を支出していただきます。 • 事務局による施工終了後、フェア開催前に出展自治体に会場に来ていただき、出展作品を確認していただきます（御来場が難しい場合は、写真により確認していただきます）。
自主施工方式	• 参加される自治体が自ら花壇や庭園等の作品を制作する方式です。 • 事務局が設定する出展テーマに基づき、参加される自治体にて作品のデザイン、材料調達、施工、維持管理、撤去を行っていただきます（維持管理のうち、日常的な灌水は実行委員会が実施します）。 • 作品の形態は花壇や庭園等のほか、各自治体の特徴を活かして自由に制作することができます。

（3）出展場所について

- 負担金施工方式の作品は亀岡駅北口（拠点会場のうちの「京都・亀岡保津川公園および周辺」）への配置を、自主施工方式の作品は、拠点会場のうちの亀岡運動公園内を予定しています。

①負担金施工　出展場所：亀岡駅北口



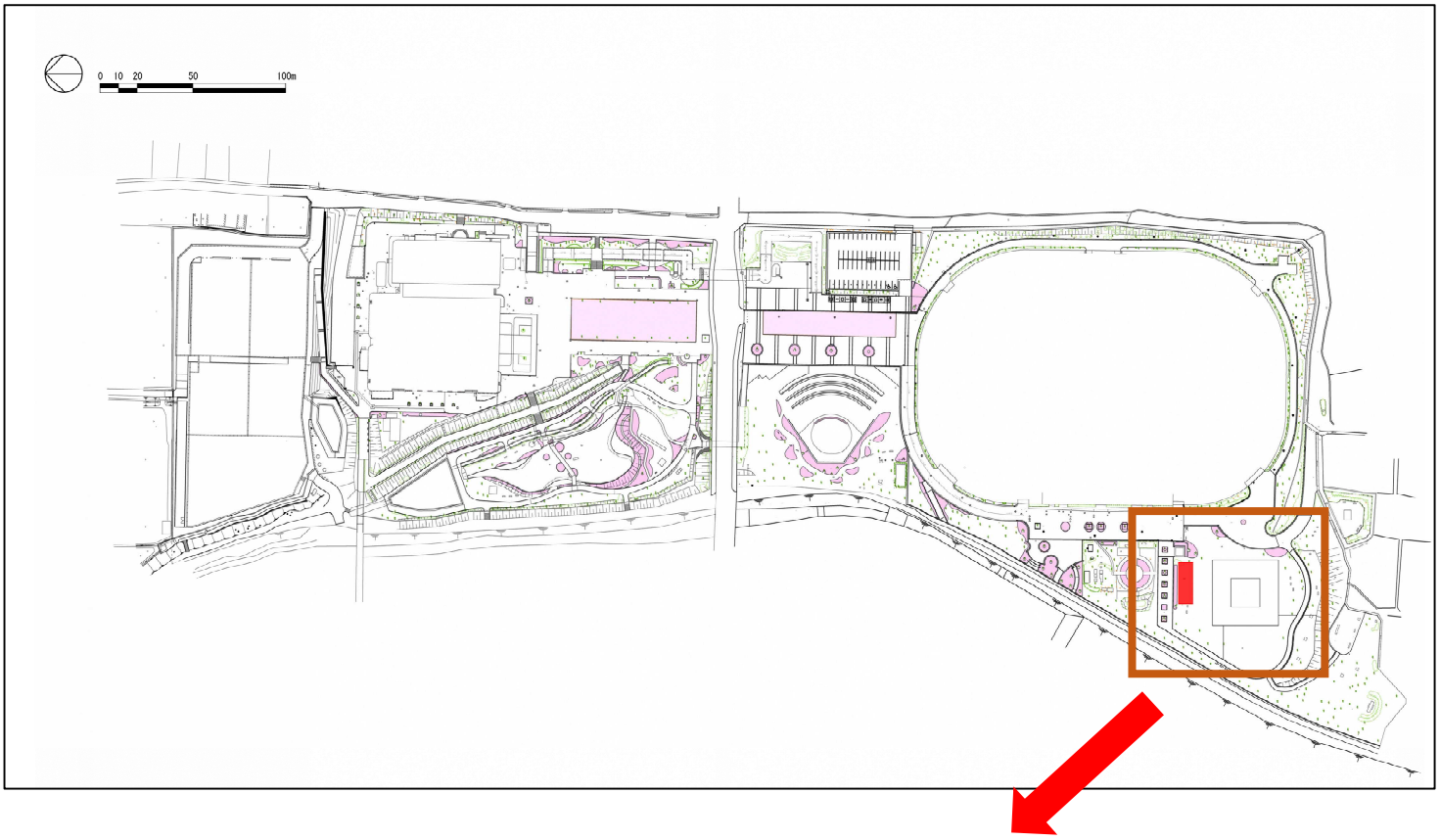
▲亀岡駅北口周辺図

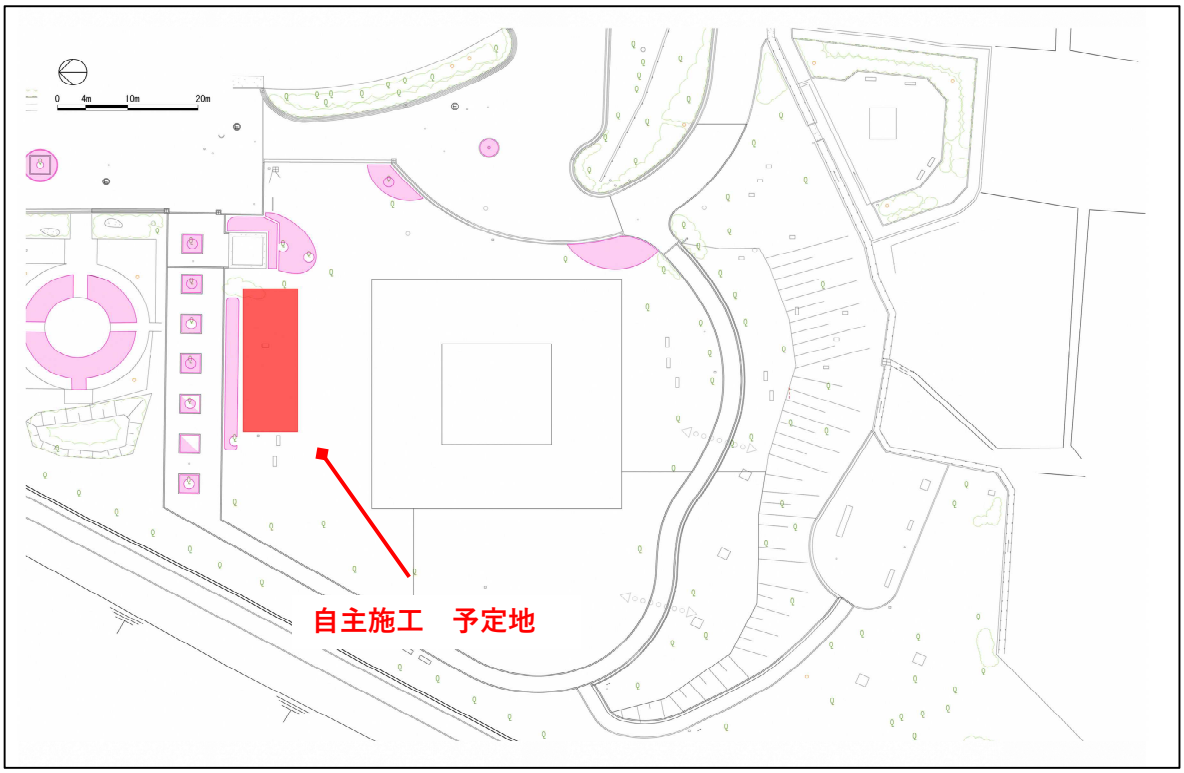
（4）負担金について　※負担金方式での出展の場合のみ

- 花壇の基盤造成、木製コンテナの作成、材料（植物・資材）、施工、維持管理、撤去費として、１区画あたり２５０万円の御負担をお願いいたします。なお、原則として負担金は令和8年度にお支払いをお願いしたいと考えております。
- 負担金方式にて出展される自治体には、支払い時期等について別途調査を実施いたします。
- 負担金方式で設置した材料（植物・資材）について、使用後は緑化フェアの事業の中で再利用をさせていただきます。希望があれば、負担した自治体にお渡しすることが可能です。
- 自主施工方式での出展の場合は、負担金の支出はありません。

Ⅱ　全国都市緑化フェアin京都丹波　自治体出展について

②自主施工　出展場所：亀岡運動公園





▲自主施工配置場所予定地　拡大図

（5）作業区分

- 出展者と事務局の作業区分は下記のとおりとします。

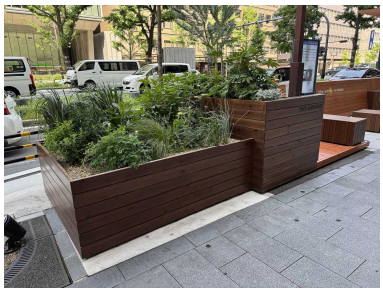
種類	出展者	事務局
負担金方式	• 花壇デザインの作成 • 使用材料（植物、資材）の選択 • 出展プレート原稿の作成 • デザインおよび使用材料についての事務局との調整 • 施工確認 • 負担金の支出	• 使用材料リストの作成 • 使用材料の調達 • 花壇の施工、撤去 • 施工確認会の開催 • 維持管理 • 出展プレートの作成 • 報告書の作成
自主施工方式	• 作品デザイン、材料調達、施工 • 維持管理（植え替え等のメンテナンス） • 出展プレート原稿の作成 • 作品撤去	• 基盤整備、撤去 • 出展プレートの作成 • 維持管理（日常的な灌水）

2　作品内容

（1）負担金方式

作品タイトル(仮)　:まちなかアウトドアリビング
作品テーマ(仮)　:まちの中でくつろぎ、憩い、植物の力を知る

- 作品のサイズは約15㎡を予定しています。
- 亀岡駅北口から京都・亀岡保津川公園へ至るプロムナードを花や緑で彩り、フェアへの期待感を高めるために、地植え型の花壇ではなく、木製コンテナを組み合わせた立体的な花壇（緑のモジュール）を用いることを検討しています。この展示を通じて、まちなかでの植物の価値や緑の効果を認識してもらいたいと考えています。
- 出展作品をパークレットとして位置づけ、自治体が考えるパークレットのあり方や、地域に根ざした緑化空間を創出するアイデアを各地の特色に基づいて提案していただくと同時に、環境保全や農業、防災、情報発信の拠点としての新しい価値を持つ緑化空間を紹介するオープンスペースとしてください。
- 出展作品の中には、環境に関連する取り組みや植物を活用した住民参加型のプロジェクトを紹介するパネルなどを設置する予定です。



（2）自主施工方式

作品タイトル(仮)　:わがまちSTYLE
作品テーマ(仮)　:地域の過去･いまを踏まえて未来のライフスタイルを提案する

- 作品の規模は約20㎡を予定しています。
- 地域の歴史、伝統、文化、産業、さらにはこれまでの「暮らしの価値」を考慮しながら、今後の持続可能な地域の形やライフスタイルを示す出展とします。
- 「環境」「食農」「芸術」といった京都丹波フェアのメッセージをふまえて、各地の緑との生活様式（わがまちＳＴＹＬＥ）について自由に表現してください。

Ⅱ　全国都市緑化フェアin京都丹波　自治体出展について

3　出展申込について

- 京都丹波フェアの自治体出展への出展参加について、様式「全国都市緑化フェアin京都丹波　自治体出展　出展申込書」に必要事項を御記入いただき、以下の日程までメールにて事務局へ御回答くださいますようお願いいたします。
  ※お手数ですが、出展の御意向がない場合でも、御回答くださいますようお願いいたします。
- 下記日程での御回答が困難な場合には、事務局へ御連絡をお願いいたします。
- 出展の御回答をいただいた自治体には、デザイン作成の詳細を記載した「デザイン作成要項（負担金方式）」または「出展概要資料（自主施工方式）」を送付します。

◆出展申込書　提出締切◆
令和7年9月30日(火)

4　今後のスケジュールについて

年	時期	負担金方式	自主施工方式
令和７年	９月３０日（火）	出展申込書の提出締切	
	１２月頃	事務局から出展者へ「デザイン作成要項」の送付	事務局から出展者へ「出展概要資料」の送付
令和８年	～２月頃	出展者から事務局へデザイン関係書類の提出	
	３～４月	事務局によるデザイン確認、材料調達、施工準備	事務局によるデザイン確認
	５～６月	協定書締結の手続き	
	７月～	事務局による施工準備	事務局から出展者へ施工ルール資料の送付
	８～９月	事務局による施工	出展者による施工
	９月１８日～ １１月８日	京都丹波フェア開催	
	１１月９日～	事務局による撤去および実績報告書の作成、自治体への送付	出展者による撤去

【お問い合わせ/提出先】
第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波実行委員会事務局
（亀岡市全国都市緑化フェア推進室　全国都市緑化フェア推進課）
担当：森、大西
〒621-8501　京都府亀岡市安町野々神8番地
TEL:0771-21-8301(直通)
E-mail:ryokka-fair@city.kameoka.lg.jp